

R-Car + AGLへのOTA(オーバー・ジ・エア)の実装



ルネサスエレクトロニクス製SoC: R-CarM2に実装

車載インフォテインメント (IVI) や先進運転支援システム (ADAS) 分野で実績のあるR-CarシリーズにATS社のOTA(オーバー・ジ・エア)クライアントソフトウェアを実装し、OTA(オーバー・ジ・エア)システムデモを構築しました。萩原電気では、技術商社としてR-Carシリーズの開発サポートに取り組むとともに、今回のデモのようなR-Carシリーズを活用したシステム提案活動を推進しています。

ATS社のOTAクライアントソフトウェアによるデモ

Advanced Telematic Systems (ATS) が提供するOTA(オーバー・ジ・エア)アップデートソリューション、OTA(オーバー・ジ・エア) Plusはオープン・スタンダードに基づいて開発されたオープンソース製品であり、ATSのパートナーは特定のベンダーにロックインされることなく、高い柔軟性かつ透明性をもたらします。また、OTA(オーバー・ジ・エア) Plusは、サービスをコンテナ化して提供する事(Container-as-a-Service)により、高い拡張性と容易なインテグレーション、そしてより早いソフトウェアのデプロイ、ダウンタイムの削減を実現しています。

AGLディストリビューション上で動作

Automotive Grade Linux (AGL) は車載Linuxディストリビューションとして、標準採用が見込まれています。ATSのOTA(オーバー・ジ・エア)クライアントソフトウェアはAGL上で動作しており、AGLのOS Treeを用いたバージョンアップを実現しています。

展示デモのソフトウェア構成図

